

2019年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700307	事業の開始年月日	平成31年2月1日
		指定年月日	平成31年2月1日
法人名	日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語いそご		
所在地	(235-0016)		
	横浜市磯子区磯子3-2-30		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	27名
		ユニット数	3 ユニット
自己評価作成日	令和1年10月10日	評価結果	令和2年2月4日
		市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>施設の近隣には散歩が出来るプロムナードがありますので、天気の良い日には散歩へ出かけて季節感を味わっていただくとともに、近隣住民や子供たちとのふれあいを大切にします。</p> <p>施設内の各階のドアは利用者様が自由に他の階へ行くことができるように開放しております。</p> <p>家事 援助の中でも料理に力を入れており、利用者様が調理に関われるようにしております。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和1年11月14日	評価機関 評価決定日	令和2年1月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、JR根岸線「磯子駅」で下車し、国道沿いに徒歩8分、大通りに面したところ。今年2月に開設の、まだ真新しく瀟洒なマンション風3階建て3ユニットのグループホームです。国道の大通りに面していますが、玄関前は広く駐車スペースと成っています。周囲はマンションも多く、事業所の建物も周囲に溶けこんでいます。</p> <p><優れている点> 事業所の理念、「私たちは入居者様にとっては鏡のような存在です。・・・」を掲げています。職員は常に利用者を鏡として、利用者に姿・心を映し、笑顔で、明るく、穏やかに、ゆったりとした暮らしを支援しています。厨房はオープンキッチンで出入りが自由であり、利用者は洗い物や野菜刻みなど職員と共に、五感の刺激を感じながら食事の準備をしています。リビングでは各テーブルを囲み、利用者同士でゲームをする人、パズルに専念する人、職員と談笑しながら折り紙に興ずる人、ソファでくつろぐ人など、ゆったりと穏やかな時間が流れています。日常の外出は、近くの産業道路沿いの木陰やベンチなどがある広くて安全なプロムナードで、散歩中に出会う近隣の保育園児とのふれあいを楽しんでいます。</p> <p><工夫点> 雛祭りや夏祭り、敬老の日、クリスマス、正月などの行事やイベントは3ユニット合同で行い、各ユニットの利用者同士の交流やふれあいの場になっています。利用者によってはエレベーターで各階自由に交流している人もいます。職員同士の交流の機会にもなっています。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語いそご
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関や各階の目の触れる場所に理念を張り出し共有しています。	理念は開設時に作った独自の理念です。事務所や各フロア入り口に掲示し共有しています。職員は利用者を鏡に置き換え、笑顔や穏やかでゆったりとした姿や心が映るような支援をモットーに、理念の実践に努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的に散歩に出かけ地域の方と挨拶を交わしたり地域ケアプラザが近隣にありますので、情報収集や時に散歩の途中でお茶を頂いたりしています。	町内会には法人として加入しています。地域の情報は近くの掲示板や社会福祉協議会で得ています。地域ケアプラザの行事や地域の防災訓練に参加しています。毎日の散歩で地元の保育園児とのふれあいがあります。楽器演奏のボランティアの訪問があります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地区の民生委員が集まって頂き施設見学会と共に施設の在り方等を説明を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヵ月毎に開催し、事業所の報告、参加者からの意見や助言などを頂いて運営に活かしております。	2ヶ月ごと年6回予定しています。主なメンバーは民生委員と家族、地域包括支援センター職員です。活動状況や外部評価の実施、感染症や防犯カメラの設置案などの意見交換を行っています。	現メンバーの他に老人会や町内会、婦人会、防災委員、保育園などの地域の代表の参加も求め、会議の充実と地域交流の拡大など、更なるサービス向上に繋げることも期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村の担当者と連絡を図り、運営推進会議を開催し利用者の生活状況、事故報告、相談などをしています。また、市からの情報提供などを取り入れて、良い関係作りに取り組んでいます。	運営推進会議の報告や介護認定の申請代行、困難事例の相談など行政と連携を図っています。福祉事務所のケースワーカーが定期的に来ています。市の虐待防止、消防署の防災訓練の立ち会い、AEDの研修など運営に活かしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者の日常行動を把握し、危険予測を含めたカンファレンスを行い、必要方にはセンサーを利用し身体拘束をしないケアに努めています。	内部研修や事業所の指針、身体拘束適正化委員会などで周知しています。不適切な言葉の事例があればミーティングや委員会で取り上げ、啓蒙しています。各フロアのドアやエレベーターは自由に往来が出来ます。玄関は防犯上施錠していますが、利用者に出発の気配があれば職員が同行しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止の研修を行い、自己点検シートを活用しております。管理者やスタッフ同士が声を掛け合い、ケアスタッフの心身の状況の把握をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修の実施や、運営推進会議にも取り入れてを制度が知られるようにしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項の説明には十分な時間を取り、書面と口頭での説明をしたうえで、ご納得いただき、同意を得ております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会にご家族様がいらした際には、ご本人様の近況報告をし、ご要望なども聞くように心がけております。	家族からの意見や要望は面会時や運営推進会議で聞いています。最近の事例では職員の顔写真入り紹介掲示、防犯カメラの設置案の検討、外出先の希望など、運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の申し送りを活用して職員の意見や提案を聞き出し、職員会議での議題として取り上げ皆で考える時間を設けています。	全体会議やユニット会議で職員の意見や提案を聞いています。管理者はリーダーや職員が自由に話せる職場環境を作っています。勤務のシフトの作成や備品の購入、行事やイベント企画、職員トイレの設置などの要望や提案は運営に反映しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	常勤・非常勤にかかわらず、資格手当を設け各自の就労スタイルに合わせて働けるようにしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に法人の研修や施設研修を行い知識・技術向上に努めています。資格取得制度やOJT研修を取り入れています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所へ応援職員として研修や勉強会に参加して情報交換をして質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時にはアセスメントをとり、利用者様が必要なことを探り不安なことなどの解消に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様には利用者様がどのように生活して頂きたいかを聞き取りをして、面会時には利用者様のご様子を報告しご家族様・職員が協力し合える関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて行政、医療機関へ受診や手続き連絡を行い支援を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事全般を共に行い、世間話を交えたりし、聞き役になって下さったり、お互いが気を配れる関係を構築するようにしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様とは日々のご様子や情報を共有し、入居者様が行きたい場所への外出などをご家族様の協力を得て、行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙の取次ぎ、ご面会時にはお茶をお出ししてくつろいで頂けるように心がけております。また、ご家族様や、ご友人様と散歩や外出をされている方もおります。	友人や知人が来訪し、居室で湯茶の接待をしています。家族の協力で墓参りや一時帰宅、馴染みの美容院などの継続支援をしています。編み物やぬり絵、写経、ドリルなどの趣味、漬物や梅干しなど嗜好類の継続支援をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事を分担したり、レクリエーションを共に行うなどして工夫をしております。散歩に行く際には誘い合ったりしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後もいつでも相談に応じるとお伝えしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員との会話・入居者様同士の何気ない会話も気に留め、ご家族様と入居者様の会話にも注目して把握に努めております。	日頃の利用者や家族の会話や利用者同士の会話から把握しています。また、入浴や夜間の職員と利用者の1対1の場やスキミングの中からも把握に努めています。意思表示の困難な利用者からは、態度や仕草、目の動きなどのサインで汲み取るようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前後には今までのサービス事業所・ご家族様・ご本人様に聞きとりし今まで使用していた家具や馴染みのもののお持ち込みしていただきできる限り環境を崩さないように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間の記録用紙にその方のお過ごした内容を記載しどのように過ごしたかを把握しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護職・看護師・介護支援専門員・医師からの助言を基に、それぞれの立場で話し合い、ご家族様やご本人様の希望を取り入れたサービス計画を作成しております。介護職員はモニタリング・カンファレンスに参加しています。	モニタリングは3ヶ月ごとに実施し、介護計画の見直しは半年ごとに行っています。計画書の作成に当たっては居室担当職員を中心とした職員、計画担当者、管理者、時には家族の参加も得て行っています。利用者や家族の意見、医療情報が計画書に反映しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	職員が実践・気づき・特記事項などは日報用紙を活用して情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	サービス提供事業所・ボランティアなどを活用しながら支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	自治会や地域の行事に参加し、近隣の住民・商店の方と顔馴染みになれるように出掛け、楽しみのある暮らしが出来るように支援をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問医を利用しない方でも、入居後の受診はご家族様・事業所が協議の上、利用者様に適切な医療が受けられるように支援しております。	入居前のかかりつけ医を継続利用する場合は基本的に家族対応としています。事業所の協力医の往診が月2回、看護師が週2回、希望に応じて歯科医の往診があります。往診医の往診記録「訪問診療情報」は全職員が確認サインし、共有化を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員を配置、入居者様の健康管理・状態変化に応じた支援を行う。24時間オンコールの体制を取り、常に入居者様の状態に応じた指示を受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には訪問医から医療情報、日々の生活状況などの提供しています。面会に伺い退院に向けて医療機関相談員と情報交換をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化や終末期に向けた方針を入居時に説明しています。その入居者様がどのような終末期を迎えるのが良いのかを話し合い、医療機関との相談・援助を行っています。	入居時に、「急変時、重度化した場合等における対応に係る指針」「看取りに関する指針」について説明し、同意を得ています。今後、重度化や終末期の対応が必要になった場合は、その場面に応じて関係者と協議し、対応して行くこととしています。	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について、勉強会や研修などを通じ、職員の共通認識や理解を深めて行くことも期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についてはマニュアルを作成しています。職員には研修も行っています。看護師・消防隊員から指導を受けています。AEDを設置し、緊急時に備えて訓練を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いのもと、夜間想定も含めた避難訓練を実施しています。実践的な訓練の後には図上訓練を取り入れたミーティングも行っています。	スモークジェネレーター（煙発生器）を使用し、夜間想定での避難訓練を行っています。訓練後に災害図上訓練研修を行い、職員の防災意識を高めています。地域の防災訓練にも参加しており、今後事業所の避難訓練に地域の協力を仰いで行くことにしています。	非常災害時の備蓄品リストを作成し、飲食料品、備品類などを整備し、職員誰でもが分かるように管理することも期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様一人一人のこれまでの生活歴・価値観などを大切にし、個性を損なわないように接することを心がけております。	利用者には人生の先輩として敬意を持って接し、話には共感を持って聞き、信頼関係を築くように心掛けています。声かけの仕方や態度、姿勢に注意し、同じ目線で穏やかに接するようにしています。命令語や否定語にならないよう注意を払っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様が物事の決定をする時、職員は選択肢を提供して、話を聞き、一緒に考えるようにしております。その方が自分で決めたと実感・納得できるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その方の生活リズムを尊重し、ご本人様の意向を伺うように心がけています。入浴したくない、体操したくない、食欲がないなどの気持ちを理解して時間や日にちの変更をして柔軟な対応をするようにしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月の訪問理美容を利用させていただき、起床時や入浴後はヘアセットや髭剃りを行っています。外出行事では、職員と洋服を選び着用、お化粧品をするなどして、おしゃれを楽しんでいただいております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員と一緒に台所に立ち、調理や盛り付けをして頂き、食事前には嚥下の体操を行っております。誕生日やお食事行事ではリクエストを伺い、提供させていただきます。	食材と献立は外部業者委託で、調理と味付けは職員と利用者と一緒にしています。誕生日にはリクエスト食や外食を行っています。食事やおやつレクリエーションでは、3ユニットの利用者全員が一同に会し、利用者、職員が交流し合い、楽しんで行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事では摂取量、食事のペース、嚥下の状態を観察し、入居者様の要望により嗜好品なども提供するように心がけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアの重要性を職員は理解できるように訪問歯科医から指導を受けております。夜間は義歯を預かり洗浄をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄の間隔のパターンを観察しトイレ誘導をしております。拒否がある方には声掛けの工夫をしたり、排泄訓練を行ったりしております。	トイレでの排泄を基本としています。排泄チェック表から個々の排泄パターンを把握してトイレ誘導しています。自立の人には注意と見守りを行っています。適切な支援の結果、オムツからリハビリパンツや布パンツに改善したり、尿意を訴える人も出て来ています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分の提供のほか体操や散歩で体を動かしています。それでも便秘傾向の方は看護師や医師に相談しています。ご家族様にヨーグルトやバナナを依頼し提供している方もおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ゆっくりと入りたい方は時間をずらして午前中に入って頂いたり、体調不良や気分が乗らない日は曜日を変更してり臨機応変に対応しております。季節の湯なども楽しんでいただいております。	入浴は週2回、1日3人、午後からを基本としています。入浴日や時間は利用者の希望に応じています。浴槽は可動式で手すりがあり安心して利用できます。浴槽の湯や脱衣所の足マットは利用者ごとに取り替えており、清潔です。浴室、脱衣所は冷暖房完備です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	消灯時間を決めずご本人様が休みたい時間まで各々過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の情報が確認できるようにファイリングしており、服薬には2重確認し十分に注意しています。薬が変更になった際も症状の変化を観察し看護師や医師に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事が好きな方、編み物が得意な方、塗り絵が好きなどご家族様やご本人様に伺い好きなことが継続できるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には散歩に出かけています。誕生日などご希望があれば施設の車で外出したりしています。	天気の良い日は毎日、全員が散歩に出かけています。散歩コースは四季折々の花が咲く近くのプロムナードです。途中、近隣の保育園の園児と触れ合いがあり、利用者の楽しみとなっています。ドライブや花見、紅葉狩りなどにも出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と相談しお金の管理ができる方には所持して頂いています。日常的に管理が困難な方でも買い物の際に職員と一緒に支払いができるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話をお持ちの方は自由に電話をかけて頂いております。また、ご希望時には職員が連絡し電話での会話ができるよう橋渡ししております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合った作品を展示したり、入居者様のご希望の席を各自で選んで頂いたりしています。	共有の空間は、清掃が行き届き、嫌な臭いもなく明るく清潔です。リビングには季節の花があり、ゆったりとしています。ソファが置かれ利用者は思い思いに過ごしています。壁面には季節に応じた利用者手作りの作品やレクリエーションの写真が掲出されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内にソファを置いてあり利用者様同士、又お一人で自由にくつろげるスペースを作っている。他の階へ行くことも自由にしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今まで生活されていた、馴染みの物などお持ち頂いております。使い慣れた中、安心して生活されています。	利用者馴染みのテーブルや椅子、サイドボード、タンス、物入れ、時計、テレビ、ラジオ、仏壇などを居室に持ち込み、本人が居心地よく過ごせるようにしています。居室担当者は利用者と一緒に、居室内の環境整備やタンス内の整理、日用品の管理などを行っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自室やトイレのわからない方にはドアには名前を表示したりしています。		

事業所名	花物語いそご
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関や各階の目の触れる場所に理念を張り出し共有しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的に散歩に出かけ地域の方と挨拶を交わしたり地域ケアプラザが近隣ににありますので、情報収集や時に散歩の途中でお茶を頂いたりしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地区の民生委員が集まって頂き施設見学会と共に施設の在り方等を説明を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヵ月毎に開催し、事業所の報告、参加者からの意見や助言などを頂いて運営に活かしております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村の担当者と連絡を図り、運営推進会議を開催し利用者の生活状況、事故報告、相談などをしています。また、市からの情報提供などを取り入れて、良い関係作りに取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者の日常行動を把握し、危険予測を含めたカンファレンスを行い、必要方にはセンサーを利用し身体拘束をしないケアに努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止の研修を行い、自己点検シートを活用しております。管理者やスタッフ同士が声を掛け合い、ケアスタッフの心身の状況の把握をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修の実施や、運営推進会議にも取り入れてを制度が知られるようにしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項の説明には十分な時間を取り、書面と口頭での説明をしたうえで、ご納得いただき、同意を得ております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会にご家族様がいらした際には、ご本人様の近況報告をし、ご要望なども聞くように心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の申し送りを活用して職員の意見や提案を聞き出し、職員会議での議題として取り上げ皆で考える時間を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	常勤・非常勤にかかわらず、資格手当を設け各自の就労スタイルに合わせて働けるようにしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に法人の研修や施設研修を行い知識・技術向上に努めています。資格取得制度やOJT研修を取り入れています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所へ応援職員として研修や勉強会に参加して情報交換をして質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時にはアセスメントをとり、利用者様が必要なことを探り不安なことなどの解消に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様には利用者様がどのように生活をして頂きたいかを聞き取りをして、面会時には利用者様のご様子を報告しご家族様・職員が協力し合える関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて行政、医療機関へ受診や手続き連絡を行い支援を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事全般を共に行い、世間話を交えたりし、聞き役になって下さったり、お互いが気を配れる関係を構築するようにしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様とは日々のご様子や情報を共有し、入居者様が行きたい場所への外出などをご家族様の協力を得て、行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙の取次ぎ、ご面会時にはお茶をお出ししてくつろいで頂けるように心がけております。また、ご家族様や、ご友人様と散歩や外出をされている方もおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事を分担したり、レクリエーションを共に行うなどして工夫をしております。散歩に行く際には誘い合ったりしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後もいつでも相談に応じるとお伝えしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員との会話・入居者様同士の何気ない会話も気に留め、ご家族様と入居者様の会話にも注目して把握に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前後には今までのサービス事業所・ご家族様・ご本人様に聞きとりし今まで使用していた家具や馴染みのもののお持ち込みしていただきできる限り環境を崩さないように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間の記録用紙にその方のお過ごしした内容を記載しどのように過ごしたかを把握しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護職・看護師・介護支援専門員・医師からの助言を基に、それぞれの立場で話し合い、ご家族様やご本人様の希望を取り入れたサービス計画を作成しております。介護職員はモニタリング・カンファレンスに参加しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	職員が実践・気づき・特記事項などは日報用紙を活用して情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	サービス提供事業所・ボランティアなどを活用しながら支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	自治会や地域の行事に参加し、近隣の住民・商店の方と顔馴染みになれるよう出掛け、楽しみのある暮らしが出来るように支援をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問医を利用しない方でも、入居後の受診はご家族様・事業所が協議の上、利用者様に適切な医療が受けられるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員を配置、入居者様の健康管理・状態変化に応じた支援を行う。24時間オンコールの体制を取り、常に入居者様の状態に応じた指示を受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には訪問医から医療情報、日々の生活状況などの提供しています。面会に伺い退院に向けて医療機関相談員と情報交換をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化や終末期に向けた方針を入居時に説明しています。その入居者様がどのような終末期を迎えるのが良いのかを話し合い、医療機関との相談・援助を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についてはマニュアルを作成しています。職員には研修も行っていきます。看護師・消防隊員から指導を受けています。AEDを設置し、緊急時に備えて訓練を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いのもと、夜間想定も含めた避難訓練を実施しています。実践的な訓練の後には図上訓練を取り入れたミーティングも行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様一人一人のこれまでの生活歴・価値観などを大切にし、個性を損なわないように接することを心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様が物事の決定をする時、職員は選択肢を提供して、話を聞き、一緒に考えるようにしております。その方が自分で決めたと実感・納得できるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その方の生活リズムを尊重し、ご本人様の意向を伺うように心がけています。入浴したくない、体操したくない、食欲がないなどの気持ちを理解して時間や日にちの変更をして柔軟な対応をするようにしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月の訪問理美容を利用いただき、起床時や入浴後はヘアセットや髭剃りを行っています。外出行事では、職員と洋服を選び着用、お化粧品をするなどして、おしゃれを楽しんでいただいております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員と一緒に台所に立ち、調理や盛り付けをして頂き、食事前には嚥下の体操を行っております。誕生日やお食事行事ではリクエストを伺い、提供させていただきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事では摂取量、食事のペース、嚥下の状態を観察し、入居者様の要望により嗜好品なども提供するように心がけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアの重要性を職員は理解できるように訪問歯科医から指導を受けております。夜間は義歯を預かり洗浄をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄の間隔のパターンを観察しトイレ誘導をしております。拒否がある方には声掛けの工夫をしたり、排泄訓練を行ったりしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分の提供のほか体操や散歩で体を動かしています。それでも便秘傾向の方は看護師や医師に相談しています。ご家族様にヨーグルトやバナナを依頼し提供している方もおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ゆっくりと入りたい方は時間をずらしで午前中に入って頂いたり、体調不良や気分が乗らない日は曜日を変更してり臨機応変に対応しております。季節の湯なども楽しんでいただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	消灯時間を決めずご本人様が休みたい時間まで各々過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の情報が確認できるようにファイリングしており、服薬には2重確認し十分に注意しています。薬が変更になった際も症状の変化を観察し看護師や医師に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事が好きな方、編み物が得意な方、塗り絵が好きなどご家族様やご本人様に伺い好きなことが継続できるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には散歩に出かけています。誕生日などご希望があれば施設の車で外出したりしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と相談しお金の管理ができる方には所持して頂いています。日常的に管理が困難な方でも買い物の際に職員と一緒に支払いができるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話をお持ちの方は自由に電話をかけて頂いております。また、ご希望時には職員が連絡し電話での会話ができるよう橋渡ししております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合った作品を展示したり、入居者様のご希望の席を各自で選んで頂いたりしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内にソファを置いてあり利用者様同士、又お一人で自由にくつろげるスペースを作っている。他の階へ行くことも自由にしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今まで生活されていた、馴染みの物などお持ち頂いております。使い慣れた中、安心して生活されています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自室やトイレのわからない方にはドアには名前を表示したりしています。		

事業所名	花物語いそご
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関や各階の目の触れる場所に理念を張り出し共有しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的に散歩に出かけ地域の方と挨拶を交わしたり地域ケアプラザが近隣ににありますので、情報収集や時に散歩の途中でお茶を頂いたりしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地区の民生委員が集まって頂き施設見学会と共に施設の在り方等を説明を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヵ月毎に開催し、事業所の報告、参加者からの意見や助言などを頂いて運営に活かしております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村の担当者と連絡を図り、運営推進会議を開催し利用者の生活状況、事故報告、相談などを行っています。また、市からの情報提供などを取り入れて、良い関係作りに取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者の日常行動を把握し、危険予測を含めたカンファレンスを行い、必要方にはセンサーを利用し身体拘束をしないケアに努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止の研修を行い、自己点検シートを活用しております。管理者やスタッフ同士が声を掛け合い、ケアスタッフの心身の状況の把握をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修の実施や、運営推進会議にも取り入れてを制度が知られるようにしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項の説明には十分な時間を取り、書面と口頭での説明をしたうえで、ご納得いただき、同意を得ております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会にご家族様がいらした際には、ご本人様の近況報告をし、ご要望なども聞くように心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の申し送りを活用して職員の意見や提案を聞き出し、職員会議での議題として取り上げ皆で考える時間を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	常勤・非常勤にかかわらず、資格手当を設け各自の就労スタイルに合わせて働けるようにしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に法人の研修や施設研修を行い知識・技術向上に努めています。資格取得制度やOJT研修を取り入れています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所へ応援職員として研修や勉強会に参加して情報交換をして質の向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時にはアセスメントをとり、利用者様が必要なことを探り不安なことなどの解消に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様には利用者様がどのように生活をして頂きたいかを聞き取りをして、面会時には利用者様のご様子を報告しご家族様・職員が協力し合える関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて行政、医療機関へ受診や手続き連絡を行い支援を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事全般を共に行い、世間話を交えたりし、聞き役になって下さったり、お互いが気を配れる関係を構築するようにしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様とは日々のご様子や情報を共有し、入居者様が行きたい場所への外出などをご家族様の協力を得て、行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙の取次ぎ、ご面会時にはお茶をお出ししてくつろいで頂けるように心がけております。また、ご家族様や、ご友人様と散歩や外出をされている方もおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事を分担したり、レクリエーションを共に行うなどして工夫をしております。散歩に行く際には誘い合ったりしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後もいつでも相談に応じるとお伝えしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員との会話・入居者様同士の何気ない会話も気に留め、ご家族様と入居者様の会話にも注目して把握に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前後には今までのサービス事業所・ご家族様・ご本人様に聞きとりし今まで使用していた家具や馴染みのもののお持ち込みしていただきできる限り環境を崩さないように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間の記録用紙にその方のお過ごしした内容を記載しどのように過ごしたかを把握しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護職・看護師・介護支援専門員・医師からの助言を基に、それぞれの立場で話し合い、ご家族様やご本人様の希望を取り入れたサービス計画を作成しております。介護職員はモニタリング・カンファレンスに参加しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	職員が実践・気づき・特記事項などは日報用紙を活用して情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	サービス提供事業所・ボランティアなどを活用しながら支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	自治会や地域の行事に参加し、近隣の住民・商店の方と顔馴染みになれるよう出掛け、楽しみのある暮らしが出来るように支援をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問医を利用しない方でも、入居後の受診はご家族様・事業所が協議の上、利用者様に適切な医療が受けられるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員を配置、入居者様の健康管理・状態変化に応じた支援を行う。24時間オンコールの体制を取り、常に入居者様の状態に応じた指示を受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には訪問医から医療情報、日々の生活状況などの提供しています。面会に伺い退院に向けて医療機関相談員と情報交換をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化や終末期に向けた方針を入居時に説明しています。その入居者様がどのような終末期を迎えるのが良いのかを話し合い、医療機関との相談・援助を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についてはマニュアルを作成しています。職員には研修も行っていきます。看護師・消防隊員から指導を受けています。AEDを設置し、緊急時に備えて訓練を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いのもと、夜間想定も含めた避難訓練を実施しています。実践的な訓練の後には図上訓練を取り入れたミーティングも行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様一人一人のこれまでの生活歴・価値観などを大切にし、個性を損なわないように接することを心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様が物事の決定をする時、職員は選択肢を提供して、話を聞き、一緒に考えるようにしております。その方が自分で決めたと実感・納得できるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その方の生活リズムを尊重し、ご本人様の意向を伺うように心がけています。入浴したくない、体操したくない、食欲がないなどの気持ちを理解して時間や日にちの変更をして柔軟な対応をするようにしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月の訪問理美容を利用いただき、起床時や入浴後はヘアセットや髭剃りを行っています。外出行事では、職員と洋服を選び着用、お化粧品をするなどして、おしゃれを楽しんでいただいております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員と一緒に台所に立ち、調理や盛り付けをして頂き、食事前には嚥下の体操を行っております。誕生日やお食事行事ではリクエストを伺い、提供させていただきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事では摂取量、食事のペース、嚥下の状態を観察し、入居者様の要望により嗜好品なども提供するように心がけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアの重要性を職員は理解できるように訪問歯科医から指導を受けております。夜間は義歯を預かり洗浄をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄の間隔のパターンを観察しトイレ誘導をしております。拒否がある方には声掛けの工夫をしたり、排泄訓練を行ったりしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分の提供のほか体操や散歩で体を動かしています。それでも便秘傾向の方は看護師や医師に相談しています。ご家族様にヨーグルトやバナナを依頼し提供している方もおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ゆっくりと入りたい方は時間をずらしで午前中に入って頂いたり、体調不良や気分が乗らない日は曜日を変更してり臨機応変に対応しております。季節の湯なども楽しんでいただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	消灯時間を決めずご本人様が休みたい時間まで各々過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の情報が確認できるようにファイリングしており、服薬には2重確認し十分に注意しています。薬が変更になった際も症状の変化を観察し看護師や医師に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事が好きな方、編み物が得意な方、塗り絵が好きなどご家族様やご本人様に伺い好きなことが継続できるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には散歩に出かけています。誕生日などご希望があれば施設の車で外出したりしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と相談しお金の管理ができる方には所持して頂いています。日常的に管理が困難な方でも買い物の際に職員と一緒に支払いができるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話をお持ちの方は自由に電話をかけて頂いております。また、ご希望時には職員が連絡し電話での会話ができるよう橋渡ししております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に合った作品を展示したり、入居者様のご希望の席を各自で選んで頂いたりしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内にソファを置いてあり利用者様同士、又お一人で自由にくつろげるスペースを作っている。他の階へ行くことも自由にしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今まで生活されていた、馴染みの物などお持ち頂いております。使い慣れた中、安心して生活されています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自室やトイレのわからない方にはドアには名前を表示したりしています。		

2019年度

事業所名 花物語 かしこ

作成日: R2年 1月21日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		災害時の備蓄品が少ないうえ、 外のコンテナに施錠して保管 しているため、必要時に出せぬ。	・保存水の確保。 ・備蓄品を施設内に移動させ 必要時に出せるようにする	簡易コンロの用意、心臓マッサージの用意 災害時に備えて誰でもわかるように しておく。	6ヶ月
2		運営推進のメンバーも限定的 地域の色をいかに出せるか	・自治会や地域の方々を呼び 会議を充実させること。	・同業種(自治会に加入)に活動 内容や案内を知らせるよう にする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月